

一般質問



あくつ広王 議員(公明)

第六期品川区介護保険事業計画について

①予防給付が地域支援事業へ移行されるが⑦サービス利用の調整は、民間居宅介護支援事業所を想定しているのか。②受け皿の今後の計画は。③現在と同等のサービスを維持するには、同等以上の報酬が必要では。④サービスの質を落とさないための工夫は。⑤地域包括支援センターの機能をどう拡充するのか。⑥事業所に加算される報酬が、介護職員の待遇改善等に反映されることを求めるが、所見を。

健康福祉事業部長 ①⑦サービス利用に当たっての基本チェックリストは、当面在宅介護支援センターで実施し、ケアマネジメントは居宅介護支援事業者にも委託予定だ。①1年程度で持続可能なサービス体系を整える。②実態を踏まえ提供時間等を勘案し、費用を設定する。③すけっと品川養成講座を開設する等、人材確保や研修の充実に努める。④効果的で、きめ細やかな支援のあり方を追求する。

③国の処遇改善加算が適切に運用されるかを把握していく。国家戦略「新オレンジプラン」を踏まえた認知症対策について

①子どもが認知症高齢者への理解を深めるための取り組みは。②地域の自発的な認知症カフェの取り組みについて、これまで以上の積極的な関与が必要では。③行方不明者の早期発見等の訓練やシステム構築等を更に進めては。④政策形成に当たり認知症の本人や家族会等が参画できる工夫が必要では。⑤認知症対策の専門部署を新設すべきでは。

健康福祉事業部長 ①戸越台中学校と小野学園で認知症サポーター養成講座を実施した。②参加者や実施主体の声を参考に考えていく。③地域の関係機関のネットワーク化が有効だ。更なる充実とエリアの拡大を検討する。④デイサービス利用者の意見やケア会議での課題を整理し、必要なサービスを検討していく。⑤平成27年4月に保健医療・認知症対策係を設置する。

空き家対策について

①条例の周知を。②どの空き家から優先的に審議会にかけるのか。③1年間に何軒程度の認定を想定しているのか。④空き家所有者や利用希望者に対し、利活用の様々な方策の紹介やマッチングの相談ができる専門窓口を設置しては。区長 ①町会長会議等での説明のほか、あらゆる広報手段で広くお知らせする。②緊

急度や地域への影響度等総合的な検討を行い、審議会に諮り、区として判断する。③認定の件数にとらわれないことなく、1件1件対応していく。④27年4月より空き家対策担当を新たに設ける。



松永よしひろ 議員(民・改)

介護対策及び認知症対策について

①介護予防や健康・医療の相談に応じる介護予防拠点「街かどケアカフェ」が必要と考えるが⑦このような場はあるのか。①今後の取り組みは。②認知症予防講習会の実績と今後の進め方等は。③サービス付き高齢者向け住宅について⑦設置の実績は。④評価は。⑤増設の見通しは。⑥認知症予防の観点から、生活習慣病対策の有効策について見解を。⑦区民健康づくりプラン品川の成果や将来に向けた取り組みは。⑧高齢者向け住宅等で自社の介護サービスの利用等を入居条件とする事例が横行していると聞くが、区でも同様の案件はあるのか。

健康福祉事業部長 ①⑦デイサービスセンター等の施設とマンパワーを活用し、効率的に実施している。①介護保険制度の改正に合わせ、より充実した事業の展開を図る。②平成25年度は93人、26年度は98人が参加した。効果的な方法を工夫し、認知症予防講習会を進めていく。③民間を含め5棟だ。④心身機能がある程度低下しても生活が継続できると評価をいただいている。⑤都の住宅供給促進事業の動向も見据え、事業者への補助を適切に判断していく。④⑤区民健康づくりプラン品川により、地域に根差した健

康づくり活動等を定着させてきた。これらの成果を踏まえ26年度に新たにしながら健康プラン21を策定しており、区民の健康寿命延伸のために活用していく。⑥事例はない。

子ども・子育て支援新制度について

①「短時間」に認定区分される認可保育所に入ることが難しいため、認定申請をしない親もいるというが現状は。②病児保育について⑦拠点を増やす考えは。①他自治体の先進的な事例は。子ども未来事業部長 ①認定申請を行わない保護者は少ないものと考えている。②⑦現在、増やす考えはない。④施設型ではなく、自宅に訪問して保育を行うタイプがある。

町会・自治会等行事参加促進事業について

①事業の対象を小学校全学年とせず1年生に限定した理由は。②町会等によつては小学生対象の行事がないが、今後どうしていくのか。③国立・私立の小中学校には行事参加カードが配布されていないが、今後の方針は。④町会等への加入促進に向けた取り組みは。地域振興事業部長 ①新事

業として約1万3千人の児童に導入した場合、地域で混乱が生じる可能性があるため、段階的に実施することとした。②青少年対策地区委員会の行事も対象としている。③地域センター等で渡している。④活動支援のための新たな仕組みづくり等に取り組んでいく。

防炎対策について

①防災訓練について⑦これまでに参加した区民の割合は。①参加されていない方々への対策は。②災害時に訓練での経験を機能させるための⑦取り組みは。①課題は。区長 ①⑦延べ年間約6万人が参加している。①参加の呼びかけを行うとともに、防災シアター改修では訓練の体験ができるように整備する。②訓練実施に支障を来すような変化はない。③様々な訓練を実施し経験が生きるよう計画している。④幅広い世代の参加を促す啓発等だ。

①防災訓練について⑦これまでに参加した区民の割合は。①参加されていない方々への対策は。②災害時に訓練での経験を機能させるための⑦取り組みは。①課題は。区長 ①⑦延べ年間約6万人が参加している。①参加の呼びかけを行うとともに、防災シアター改修では訓練の体験ができるように整備する。②訓練実施に支障を来すような変化はない。③様々な訓練を実施し経験が生きるよう計画している。④幅広い世代の参加を促す啓発等だ。

空き家対策について

①空き家等実態調査の進捗状況は。②学生に住んでもらえるようなシェアハウスとして活用しては。③所有者へのアプローチ方法は。④都や国との連携の現状等は。都市環境事業部長 ①所有者アンケートを集計中だ。②調査研究していく。③周知用のパンフレット送付等を考えている。④都税事務所とは、これまでも情報の共有を行っており、引き続き都や国の動向を注視し連携を図っていく。



しながら水族館無料送迎バス(イルカ柄)